

第29期 決算公告

平成24年2月23日
 福岡市東区箱崎七丁目9番66号
 コカ・コーラウエストベンディング株式会社
 代表取締役社長 森島 康典

貸借対照表

(平成23年12月31日現在)

(単位 千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	1,996,163	流動負債	1,795,882
現金及び預金	32,519	短期借入金	459,877
売掛金	1,687,701	リース債務	49,190
貯蔵品	9	未払法人税等	22,419
繰延税金資産	115,363	未払消費税等	91,351
未収入金	149,297	未払金	164,789
仮払金	7,835	未払費用	664,196
前払費用	3,398	預り金	343,844
未収利息	38	未払利息	213
固定資産	378,588	固定負債	170,203
有形固定資産	203,945	リース債務	31,132
建物	0	退職給付引当金	139,070
工具、器具及び備品	217	負債合計	1,966,085
土地	126,000	(純 資 産 の 部)	
リース資産	77,728	株主資本	408,665
無形固定資産	712	資本金	80,000
ソフトウェア	712	資本剰余金	211,507
投資その他の資産	173,929	その他資本剰余金	211,507
繰延税金資産	172,764	利益剰余金	117,158
その他の投資	1,165	利益準備金	20,000
		その他利益剰余金	97,158
		繰越利益剰余金	97,158
		純資産合計	408,665
資産合計	2,374,751	負債純資産合計	2,374,751

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てております。

注 記 事 項

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法によっております。なお、耐用年数は次のとおりであります。

建物	30～34年
建物附属設備	8～15年
構築物	15～20年
工具、器具及び備品	5～20年

② 無形固定資産

定額法によっております。なお、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

③ リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(2) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込み額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

過去勤務債務（債務の減額）は、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（1年）による定額法により按分した額を発生時から費用の減額処理しております。

また、数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

（追加情報）

当社は、平成23年1月1日付で従業員の定年延長および退職給付制度の変更を行っております。これに伴い過去勤務債務の費用の減額処理を120,216千円行っております。

(3) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額 389,898千円

3. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産および繰延税金負債の発生 の 主な原因別内訳

繰延税金資産	
繰越欠損金	192,371千円
退職給付引当金	54,989千円
共済会他剰余金	22,947千円
固定資産減損損失	25,713千円
リース債務	10,459千円
未払事業所税	9,785千円
その他	6,005千円
評価性引当額	<u>△ 24,380千円</u>
繰延税金資産合計	297,890千円
繰延税金負債	
リース資産	<u>△ 9,762千円</u>
繰延税金負債合計	<u>△ 9,762千円</u>
繰延税金資産純額	<u>288,128千円</u>

4. 当期純損益金額

当期純利益 110,721千円

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てております。

以 上